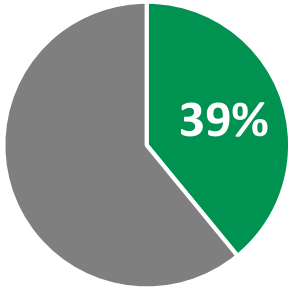
投融資先へのエンゲージメント状況（2024年3月末時点）

実施社数
累計：43社 (2023年度：25社)

対話テーマ	2021年度	2022年度	2023年度
気候変動	**4** 社	**14** 社	**25** 社
自然資本・生物多様性	–	**10** 社	**9** 社
人権	–	**13** 社	**11** 社
人的資本	–	**4** 社	**9** 社
ガバナンス（女性管理者比率等）	–	**4** 社	**10** 社

気候変動に関連した
エンゲージメントの割合

※2023年度に限る



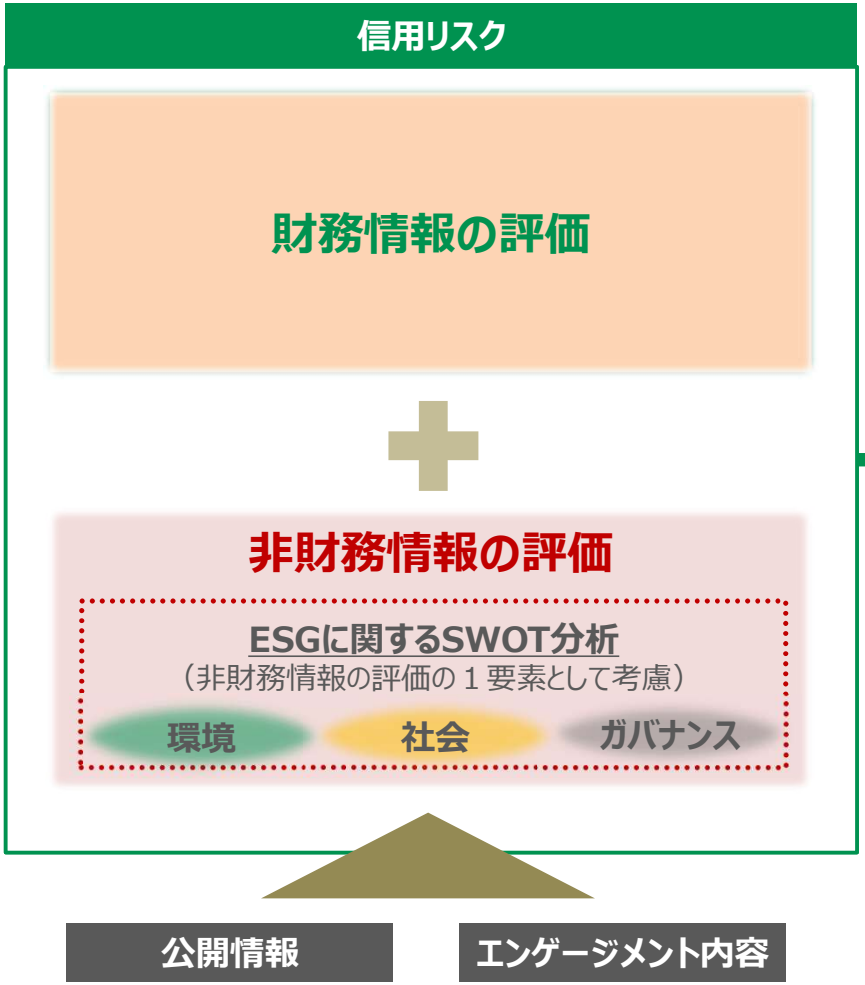
エンゲージメント事例

1.課題設定		2.実施先検討		3.実施	4.フォロー
テーマ	**目的**	**投融資先**	**実施時期**	**対話内容**	**今後の対応**
気候変動	ネットゼロ達成に向けた排出量上位先の投融資先との対話。 気候関連リスク・機会への投資に係る財務影響の確認。	ガス A社	2023年5月	• 排出量削減の課題（技術開発、バリューチェーン）を確認。トランジションに伴うScope1・2の増加見込みに係る開示を依頼。 • 気候変動に伴う財務影響や、開示を拡充すべき内容について意見交換を実施。	• 当行から依頼したScope1・2の見込み値について、公開情報等でフォロー。
		電力 B社	2024年1月	• 目標達成に向けた取組みの進捗状況を確認。 • 再生可能エネルギーの拡大余地について確認・意見交換を実施。	• 今後、実査を含む継続的な意見交換の可能性について依頼。
人権	意図せず人権侵害に加担しないための管理態勢に係る対話。	商社 C社	2023年6月	• 人権リスクが相対的に大きい海外を含め、子会社のリスク分析・対策を実施していることを確認。 • サプライチェーンに係るリスク分析も実施し、2024年度以降に調査を行う予定であることを確認。	• 2024年度の取組みを公開情報等でフォロー。 • 今後も継続的に対話を実施したい旨を投融資先に伝達済み。
自然資本	自然資本への依存度が相対的に高い業種の取組みに係る対話。	食料品 D社	2023年11月	• 依存・影響が大きいカテゴリの特定状況や、リスク・機会の分析状況を確認。 • リサイクルに係る取組み状況を確認。財務影響（資本支出）への影響や、今後の研究開発に関して意見交換。	• 対話した内容の対応状況を公開情報等でフォロー。 • 今後も対話を実施したい旨を投融資先に伝達済み。

ESGインテグレーション

■ 当行の投融資のプロセスにおいて、投融資先の信用力評価を行う際に環境/社会/ガバナンスの取組状況を確認し、信用力に影響を与え得るものを定性的な評価要素の１つとして考慮しています（ESGインテグレーション）。

投融資先の信用力評価



〈当行の投融資のプロセス〉

投融資検討	投融資実施部署（フロント部署）にて案件検討
投融資先の信用力評価	フロント部署からの要請等に基づき、リスク管理部署が投融資先の信用力を評価
投融資限度額の適用	信用力評価に応じた、投融資限度額を適用
投融資の実施	投融資限度額の範囲内でフロント部署が投融資を実施
投融資先のモニタリング	定期的に信用力の変化のモニタリングや信用力の点検・再評価を実施

- 投融資先の信用力評価において、環境/社会/ガバナンスへの取組状況やリスクも定性的な要素の１つとして考慮しています。
- 具体的には公表情報等に基づき、ESGに関するSWOT分析を実施し、その評価結果を必要に応じて投融資先の信用力評価に反映しています。
- この評価は投融資検討段階で実施するとともに、投融資先のモニタリングの一環として信用力評価を定期的に見直す際にも行っています。